

HTB詐欺撲滅キャンペーン 「今そこにある詐欺」 第52回ギャラクシー賞 報道活動部門入賞

HTBが2013年5月から取り組んできた詐欺撲滅キャンペーン「今そこにある詐欺」が、第52回ギャラクシー賞報道活動部門に入賞しました。全国から31本がエントリーされる中、HTBを含め6本が入賞しており、6月2日(火)にウェスティンホテル東京で行われる贈賞式で、大賞1本、優秀賞2本、選奨3本が発表となる予定です。

HTBがギャラクシー賞報道活動部門で入賞するのは、2004年から2012年まで8年に渡り取り組んできた「重い病気の子供達のための“そらぶちキッズキャンプ”を伝えた一連の報道」が、第50回ギャラクシー賞報道活動部門の選奨を受賞して以来です。

ギャラクシー賞とは、放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、優秀な番組・個人・団体に贈られる権威ある賞です。現在、テレビ、ラジオ、CM、報道活動の四部門制をとり、毎年4月1日から翌年3月31日を審査対象期間と定め、年間の賞を選び出しています。

【入賞企画】 HTB詐欺撲滅キャンペーン「今そこにある詐欺」

【放送日時】 2013年5月27日～現在も放送中
午後6時15分～7時00分「イチオシ！」内(北海道ローカル)

【入賞した報道活動の内容】

被害者と対面せずに現金を騙し取る「特殊詐欺」。警察の取り締まり強化にも関わらず、被害は急増の一途をたどっています。しかし、事件を大きく報じる新聞・テレビは少ない。被害の大きさと報じられる少なさのギャップを埋めようと、2013年5月にHTBが乗り出したのが詐欺撲滅キャンペーン「今そこにある詐欺」でした。被害者の多くが高齢者であることから、放送では詐欺の手口をできる限り細かくわかりやすく伝え、被害を防止するポイント解説を忘れず、常に最新の情報を伝えることに重きを置き、繰り返し注意を促してより多くの人に情報が広がるために“毎日欠かさず”伝えることを決めました。

理不尽な犯罪を撲滅するという意識を報道部内で共有するため、記者を固定化せず、日々交代して総力戦で取材にあたっています。放送開始からまもなく2年。現在に至るまで、ほぼ毎日放送し続け、今月中旬に500回を迎えます。

被害撲滅の観点から、放送に留まらず、イベントでパネルなどを展示して被害の防止を訴えたり、講演会を通して直接視聴者に最新の詐欺の手口などの情報を提供するなど、多面的な活動を続けています。